



「移植医療について考えよう」

街頭啓発とライトアップを行います ～グリーンリボンキャンペーン～

10月 は臓器移植普及推進月間です。臓器移植は、皆さんの無償の善意で支えられており、意思表示の方法や臓器移植に対する正しい知識を得ることがとても大切です。

県民の皆さんが移植医療について考え、家族と話すきっかけとなることを願い、以下のとおりキャンペーンを実施します。

1 内容

○街頭啓発

移植医療への理解の呼びかけ、ティッシュ等の配布を行います。

元宝塚歌劇団 星組の^{あかしれいま}朱紫令真さん(長野市出身)、アルクマも一緒に街頭啓発を行います!

※朱紫令真さんは途中から参加します。

○ライトアップ

世界的な移植医療のシンボルであるグリーンリボンをイメージして、善光寺本堂及び松本城天守が緑色にライトアップされます。この光には、ドナー(臓器提供者)への感謝に加え、移植を待つ人たち、移植医療を支える医療者等へのエールの意味も込められています。

2 日時・場所

○街頭啓発 **10月19日(土)** 14時50分～16時

・JR長野駅 東口2階デッキ から 新幹線改札口前

○ライトアップ

・善光寺本堂(長野市) : **10月15日** 18時～21時

・松本城天守(松本市) : **10月14日、15日** 18時～21時



グリーンリボンキャンペーンの使者ハーティとグリーンリボン

主催：長野県臓器移植推進協議会(事務局：(公財)長野県アイバンク・臓器移植推進協会内)
共催：長野県

報道機関の皆様へ

取材を希望される報道機関は、10月18日(金)15時までに、以下長野県臓器移植推進協議会メールアドレスあてに、報道機関名、担当者名、当日連絡可能な連絡先をお知らせ願います。なお、長野駅での取材に必要なJRへの取材申請は主催者が一括して行います。

<参考データ>

臓器提供に係る意思表示(意思表示カードや運転免許証への記入等)をしている人の割合は10.2%と少ない。

移植を受けた人の平均的な待機の期間として、心臓は約3年、肝臓は約1年、肺は約2年半、膵臓は約3年半、小腸は約1年となっている。特に、待機者の多い腎臓移植は約15年となっている。

[令和3年度「移植医療に関する世論調査」(内閣府)、(公社)日本臓器移植ネットワークHP]

(問合せ先)

担 当 長野県臓器移植推進協議会(主催者)
(公財)長野県アイバンク・臓器移植推進協会内)
電 話 026-226-1516(直通)
ファクシミリ 026-226-1636
電子メール nagano.eye.bank@zb.wakwak.com

(問合せ先)

担 当 医療政策課医療係 石川
電 話 026-235-7131(直通)
026-232-0111(代表) 内線 2620
ファクシミリ 026-223-7106
電子メール medical@pref.nagano.lg.jp